

モニタリング結果報告書 (令和元年度)

1. 施設概要

施設名	厚木精華園		
所在地	厚木市上荻野4835-1		
サイトURL	https://www.kyoudoukai.jp/		
根拠条例	神奈川県立の障害者支援施設に関する条例		
設置目的(設置時期)	障害者総合支援法第5条第11項に規定する障害者支援施設		
指定管理者名	社会福祉法人かながわ共同会		
指定期間	H28.4.1 ~ R8.3.31 (2016年) (2026年)	施設所管課 (事務所)	障害サービス課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況はB評価、利用者満足度はS評価、収支状況はC評価となったことから、3項目評価はB評価とした。</p> <p>今後の方針としては、引き続き高齢知的障害者支援のノウハウの普及啓発、施設入所利用者のグループホーム等への地域移行を目指し、県立障害者支援施設として、役割を担ってもらいたい。</p> <p>また、喀痰吸引等の医療的ケアが必要な利用者が増えてきており、数年後を見据えて、夜間の医療等との連携体制を準備していく必要がある。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 昨年度から実施している取組として、生活課運営体制の見直しと診療体制の強化、高齢知的障害者への支援体制と共生型サービスの検討、入所者の高齢化・重度化に対応したGH（グループホーム）の新設が挙げられる。この取組については、プロジェクトを立ち上げ、現状を踏まえながら、今後、同園としてどのような対応を行っていきけるのか検討する場としている。具体的には、プロジェクト会議A（入所系）では医療的ケアが増えている現状を踏まえて、利用者の寮移動や利用者の日常生活の見直し等の検討を行い、入所施設内での課題に取り組んでいる。また、プロジェクト会議B（GH系）では、日中支援型のGHの運営について、事業として成り立つのか等、外部サービスについての課題に取り組んでおり、引き続き、課題を整理しながら、県立施設としての機能をより発揮してもらうことを期待する。</p> <p>◆利用状況 退所者数に対して、入所者数が下回ったため、対前年度比95.0%となり、B評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 利用者の満足度調査において、上位2項目（満足、どちらかといえば満足）の回答が100%のため、S評価となった。満足度調査は利用者家族を対象に実施したが、回収率は75.6%となっており、昨年度とほぼ同様の回収率であった。昨年度より「満足」の減少が見受けられるが、「不満」の回答はなかった。トイレの匂い等環境衛生、清潔感に課題があるとの意見があった。</p> <p>◆収支状況 収支に関しては47,427千円の赤字であり、収支差額は当初予算比マイナス664.43%でC評価となった。理由としては、備品更新（1千万円）及び法人本部への繰り入れ（津久井やまゆり園で採用する職員の給与費積立金<約1億円>）が主な要因である。</p> <p>◆苦情・要望等 数年前まで運営を行っていたGHに対して、近隣住民から苦情の連絡が入った。理由としてGHの運営を中止する際、GHの表示を外すことを失念していた。その後、表札を外してもらうように調整し、近隣住民には回覧により周知を行った。</p> <p>◆事故・不祥事等 利用者の事故等に関しては、3件の記載があるが、特に5月5日に発生した風呂場への車いす利用者の転落事故に関しては、職員が他利用者の更衣の支援を行っていた際に、浴室のドア出入り口を閉め忘れたことから、利用者が車椅子を自ら自走し、風呂場に入ってしまったという人為的なミスによるものである。この件に関しては、園側に再発防止策の速やかな作成とその周知徹底を指導した。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 特になし</p>	
3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要
B	※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	12月19日	障がい者虐待を疑わせる行為をした職員がいるとの匿名情報が届いたことから、随時モニタリングを実施したが、大きな問題等の確認はできなかった。
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
利用者本位の支援	2カ月に1回、プロジェクト会議Aを開催し、利用者の身体機能低下、外部医療機関受診回数増によるルーティン業務の対応等職員不足など課題を確認した。	<ul style="list-style-type: none"> ・5名の利用者が、常時医療対応が必要になり、療養型病院へ移行した。 ・入浴支援において、生活課と日中支援課が協力して行い、事故防止に努め、人員不足を補った。 ・ハード面の改修の課題を確認し継続検討とした。
	2カ月に1回、プロジェクト会議Bを開催し、新たなグループホームにおける職員配置と日中サービス支援型グループホーム創設等を検討した。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置、収支等の検討課題が多いことが確認できた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の質の向上を目的として、園内研修を実施した。 ・医療的ケアに継続的に取り組み、職員5名が喀痰吸引第3号研修修了認定書を取得した。 ・園内余暇の充実として福祉ネイル、衣類の訪問販売（定期）、コンビニの訪問販売（毎月）、介護マッサージを実施した。 ・食生活充実のために栄養ケアマネジメントを継続的に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修15回実施。また、外部研修への参加を促進し支援の向上、人材育成に努めた。 ・確実な医療的ケアが行えるよう人材育成に努めた。 ・利用者個々のニーズに対応できるよう取り組んだ。 ・栄養ケアマネジメントについて、毎月会議を開催し確認を行い健康維持に努めた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・人権委員会、利用者自治会、虐待防止委員会、オンブズマン相談会を毎月開催した。 ・家族向けアンケート、職員の自己チェックリスト、来園者向け簡易アンケートを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権目標を設定し、各課で虐待防止に取り組み虐待防止委員会で全園的な取り組みとなるよう確認を行った。 ・身体拘束について、利用者の現状、解除に向けての確認を継続的に行っている。 ・利用者満足度調査に取り組んだ。

地域貢献と「ともに生きる社会」の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献を目的に各事業を積極的に実施した。 ・近隣の荻野小学校3年生との交流 小学生47名、教員3名の参加。 ・地元自治会、行政等関係機関と連携し荻野地区協定施設連絡会に参加。 ・高齢者支援セミナーを11回開催し延べ163施設、258名が参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創立記念コンサートへ外部からの招待、ボランティア、近隣小学校との福祉交流に取り組んだ。 ・荻野地区の防災体制の構築に協力した。 ・高齢者支援への理解、質の向上を目的とし取り組んだ。
--------------------	--	---

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等

5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。
B	社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。

	前々年度	前年度	令和元年度
利用者数※	38,699	38,327	36,410
対前年度比		99.0%	95.0%
目標値	40,150	40,150	40,260
目標達成率	96.4%	95.5%	90.4%

目標値の設定根拠： 社会福祉入所施設であり、目標値の設定が困難であるため
入所定員×365日で設定（元年度は366日）

利用者数の算出方法（対象）： 施設入所者の延べ人数（定員110名）

（令和元年度から定員数に延べ日数を乗じた目標値へ変更）

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	簡易調査、定期調査	利用者家族を対象に満足度調査を実施。「満足」の減少が見受けられるが、「不満」の回答はなかった。トイレの匂い等環境衛生、清潔感に課題があるとの意見があり改善に努めたい。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 厚木精華園の運営体制・支援体制に満足していますか。

実施した調査の配布方法 紙面にて配布・郵送 回収数/配布数 99 / 131 = 75.6%

配布(サンプル)対象 施設利用者の家族

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	84	12	0	0	96	回答なし3件
回答率	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%		
前年度の回答数	92	7	1	0	100	
前年度回答率	92.0%	7.0%	1.0%			
回答率の対前年度比	95.1%	178.6%	0.0%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：プラスの施設が該当 収支差額の決算額/収支差額の当初予算額の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
C	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支差額の決算額/収支差額の当初予算額
前々年度	当初予算	205,931	613,602	7,188	備考欄参照	826,721	825,734	987	
	決算	199,163	613,727	9,074	備考欄参照	821,964	796,326	25,638	2597.57%
前年度	当初予算	205,931	607,097	9,349	備考欄参照	822,377	820,954	1,423	
	決算	203,746	636,388	17,316	備考欄参照	857,450	817,451	39,999	2810.89%
令和元年度	当初予算	203,746	630,084	32,241	備考欄参照	866,071	858,933	7,138	
	決算	205,742	618,171	21,855	備考欄参照	845,768	893,195	-47,427	-664.43%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和元年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【その他収入の主な内訳について】

当初予算

決算

○2019年度(令和元年度)

- ・ 経常経費寄付金収入 930千円
- ・ その他収入 10,331千円
- ・ 拠点区分間繰入金収入 3,400千円
- ・ 退職給付引当資産取崩収入 10,442千円
- ・ 備品等購入積立資産取崩収入 7,138千円

- ・ 経常経費寄付金収入 1,233千円
- ・ その他収入 8,032千円
- ・ 拠点区分間繰入金収入 0千円
- ・ 退職給付引当資産取崩収入 2,002千円
- ・ 備品等購入積立資産取崩収入 0千円
- ・ その他の活動による収入 10,588千円

○2018年度(平成30年度)

- ・ 経常経費寄付金収入 180千円
- ・ その他収入 7,964千円
- ・ 法人繰入金 1,205千円
- ・ 退職給付引当資産取崩収入 0千円

- ・ 経常経費寄付金収入 1,783千円
- ・ その他収入 11,025千円
- ・ 法人繰入金 1,204千円
- ・ 退職給付引当資産取崩収入 3,304千円

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	1 件	数年前まで運営を行っていたGHに対して、近隣住民から苦情の連絡が入ってしまった。理由としてGHの運営を中止する際に、GHの表示がされたまま失念したことによるもの。その後、表札を外してもらうように調整の上、自治会には回覧を実施し、近隣住民に周知を行った。	仲介業者に対応を依頼。自治会へ回覧の依頼。
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	発生時の詳細な状況
	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
5月5日	①風呂場にて大きな音がして、確認したところ車椅子ごと転倒している。 ②電話による速報後、事故報告書により、内容を確認する。 ③通院し右肩鎖骨を骨折。痛み止めを服用し自然治癒となる。 ④なし ⑤職員が他利用者の更衣の支援を行っていた際に、浴室のドア出入り口の施錠を怠り、自走で風呂場に入ってしまった。費用負担なし。 ⑥なし
9月1日	①自室ベッド上で顔面蒼白でうつむいている状態で発見。息浅いことを確認したが、声掛けに反応なし。 ②電話による速報後、事故報告書により、内容を確認する。 ③6:35救急隊到着、7:14東名厚木病院到着、7:40死亡確認、8:30厚木警察到着事情聴取、15:00検死の結果「イレウスによる病死」との診断される。 ④なし ⑤イレウスによる自然死。費用負担なし ⑥なし
11月6日	①職員が他利用者のシャワー浴の準備中に声が聞こえその後床に倒れるような音を確認。介助で立ち上がろうとするが、立位がとれない状態。 ②電話による速報後、事故報告書により、内容を確認する。 ③通院し、左大腿骨頸部骨折し入院、手術となる。 ④なし ⑤転倒のリスクはあったが、把握が十分でなかった。 ⑥なし

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したのもでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。